

81 KOA株式会社【長野県】

創業の精神は「地元で家族と暮らしながら働けること」

農家の若者達が出稼ぎに行くことなく地元で家族と暮らしながら働けるようにしたいという「創業の精神」を堅持し、伊那谷をはじめとする各立地拠点における雇用確保に重点を置いている。

地元出身学生に対してより積極的に企業情報を発信。社員数に占める長野県出身者は、8割を超える。

事業背景

創業者・向山一人（むかいやま かずと）は2014年には生誕100周年を迎えている。

向山の出身地である長野県伊那谷地方は、当時養蚕が盛んで、向山の生家も養蚕農家。しかし、1929年の世界大恐慌の影響で繭価が大暴落し、農家の暮らしは一気に厳しくなり、長男以外は都会に働きに出ざるを得なかった。

向山はそうした窮状を目の当たりにして、苦学して東京で電気を学び、地元で工場を興し現金収入の途を作ることを決意、1940年に興亜工業社（現、KOA）を東京に設立。翌年には、生れ故郷に工場を設置、以来伊那谷各地に次々と工場を設け、農家の若者達が出稼ぎに行くことなく地元で家族と暮らしながら働けるようにした。

KOAはこの「創業の精神」を変えてはならないものとして堅持し、伊那谷をはじめとする各立地拠点における雇用確保に重点を置いている。このため海外をはじめとする競合各社との競争優位を、社員の全員参加の経営改善活動を展開することで確保している。

技術者の採用背景

- 長野県は大学進学者の8割以上が県外校に進み、その多くが県外企業に就職する。そうした状況下、社員数に占める長野県出身者は、技術部門で7割超、全社では8割を超えている。
- 地元出身学生に対してより積極的に企業情報を発信している。また育児休業制度などの処遇制度を拡充するとともに教育にも力を注ぎ、地元で働く社員にとって魅力的な企業でありつづけることに注力している。
- 地元の技術系大学とは積極的に共同研究を展開、インターンシップ生の受け入れも行なっている。さらに、地元企業で人員整理が行われた際は、可能な限り技術者を中心に採用を行ってきた。

地域振興活動

■KOA森林塾 ～ふるさとの森を守ろう。森の担い手を育てる～

日本の国土の3分の2にあたる2,500万haの森林面積のうち1,000万haは、戦後国策で植林されたスギなどの人工林。しかし、今では放置された林も少なくない。人のつくった森は、人に見放されたときから荒廃を始めるため、「KOA森林塾」をととして、山を守る人々を育てている。

■リサイクルシステム研究会

～地域の仲間と手を取り合って。循環型社会のモデルづくり～

地域企業7社とともに1990年に循環型社会づくりを目的とした研究会を発足させている。現在、これを発展させた「リサイクルシステム研究会」の一員として、オフィス古紙の回収や天竜川水系を舞台とした環境保全のための啓蒙活動を展開中である。

その他の活動報告 ⇒ <http://www.koanet.co.jp/mission/index.html>

■KOA独自の環境負荷低減活動に取り組む

企業という存在が過去にないほどの影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、その活動は「地球人」としての確かな時代認識に立脚すべきであり、また社会が持続可能な発展を遂げるためには、企業がその使命（ミッション）を深く理解し、社会的責任を果たしていくことが重要と考えている。KOA独自の環境負荷低減活動に取り組むとともに、地域社会との連携の中で、さまざまな活動を展開。これからも、この活動を社員一人ひとりの中に根づかせるとともに、株主、顧客・取引先、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築を企業の使命としている。



コピー用紙循環システム（平成11年～）



親子で水質調査（平成13年～）



KOAが描く「水系の社会システムづくり」

KOA 株式会社 総務センター

〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 14016 KOA バインパーク内アースウイング

Tel. 0265-70-7171 / Fax. 0265-70-7711